

「墨田区都市計画マスタープラン」改定区民ワークショップ

平成19年度

第1回 ワークショップの概要

■第1回ワークショップの概要

◎テーマ：平成19年度の進め方／写真を使ったオリエンテーション

◎日時：2007年5月10日 19:00～21:00

◎会場：墨田区役所 13階 131会議室

新しいメンバーを加え、再出発となった平成19年度第1回目のワークショップでは、ワークショップメンバーの方々に“自分が良いと思う場所やもの”の写真を持参いただき、自己紹介を兼ねて写真に写ったすみだの良さをPRするというプログラムを実施しました。

写真をもとに話が弾み、また、平成18年度の検討内容の振り返りなども行ったため、あっという間に予定の2時間が過ぎてしまいました。今回から6グループでの検討となりましたが、総勢36名の方が集まり非常に賑やかな会となりました。

■当日の流れは・・・



まずは平成18年度の検討内容の振り返りから



写真を手に「こんなところが気になっています」



身を乗り出して写真を撮った場所の確認
「あそこにそんな場所があったのか」



平成19年度のワークショップも最後に全体で検討内容の発表を行っています

■次回の予定は・・・

次回から3回に分けて、具体的なテーマ別の検討をはじめます。特に関心の高いテーマやキーワードを中心に、違った角度から課題や提案を眺めてみることからスタートです。

(注) ワークショップは事前に参加登録をさせていただいた方にお集まりいただき、これからのまちづくりと20年後の墨田区の将来像について検討しています。参加登録をしていないけれどもワークショップの内容や検討中の案に対するご意見・ご感想・お問い合わせなどがあるという方は toshikeikaku@city.sumida.lg.jp (墨田区都市計画課) までご連絡ください。

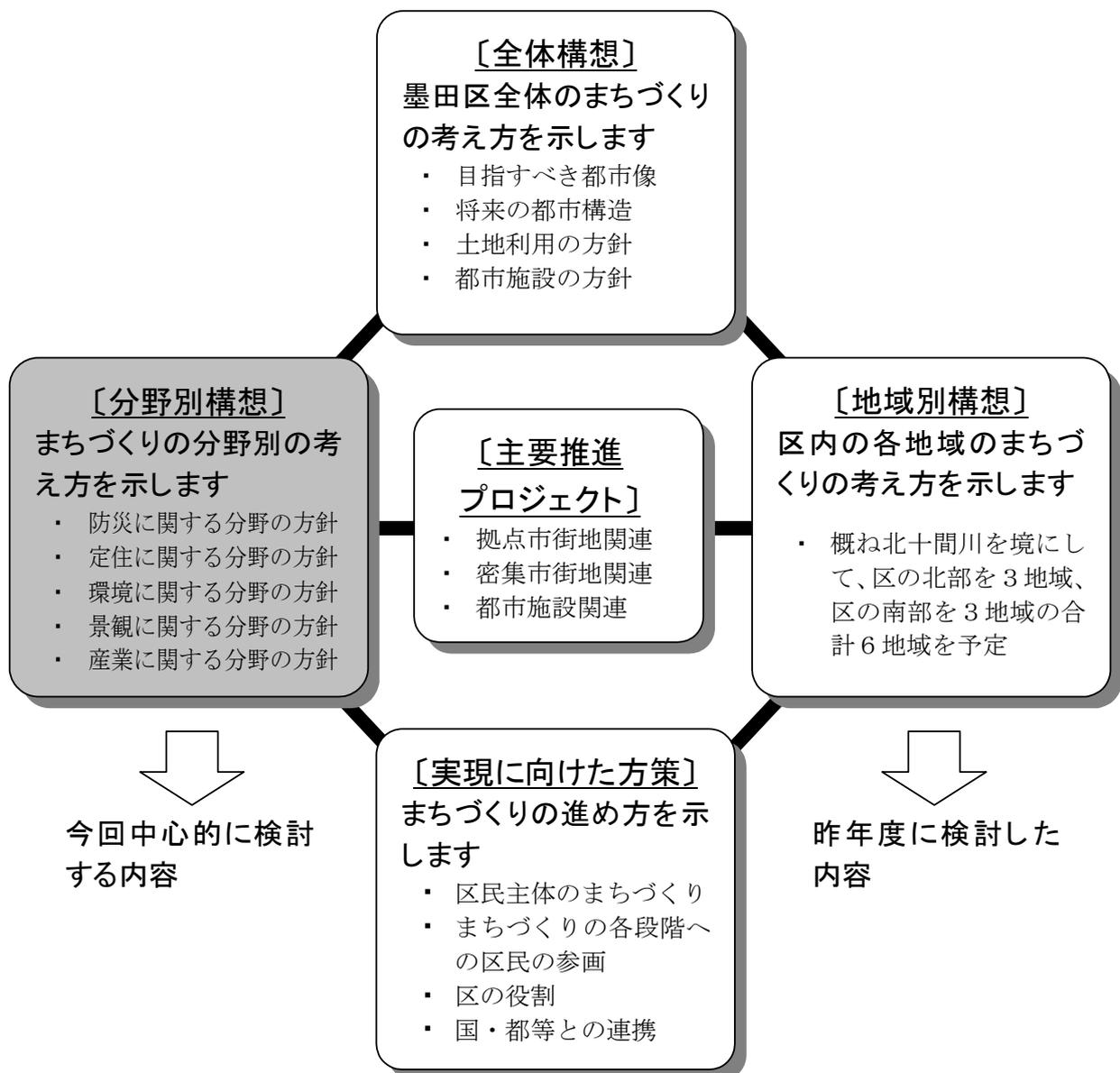
■平成 19 年度ワークショップの進め方

平成 18 年度のワークショップは4つの地域別のグループに分かれ、まちの課題やまちの将来イメージについて検討してきました。平成 19 年度は、地域毎の検討を深めるため、メンバーを拡充し、6つの地域に分けて、それぞれの地域のまちの課題についてテーマ毎に掘り下げた検討を行うためのワークショップを開催することになりました。

⇒検討する内容は・・・分野別構想（テーマ毎に掘り下げた検討）

⇒検討を行う範囲は・・・地域別の6グループで検討

<都市計画マスタープランにおける分野別構想の位置づけ>

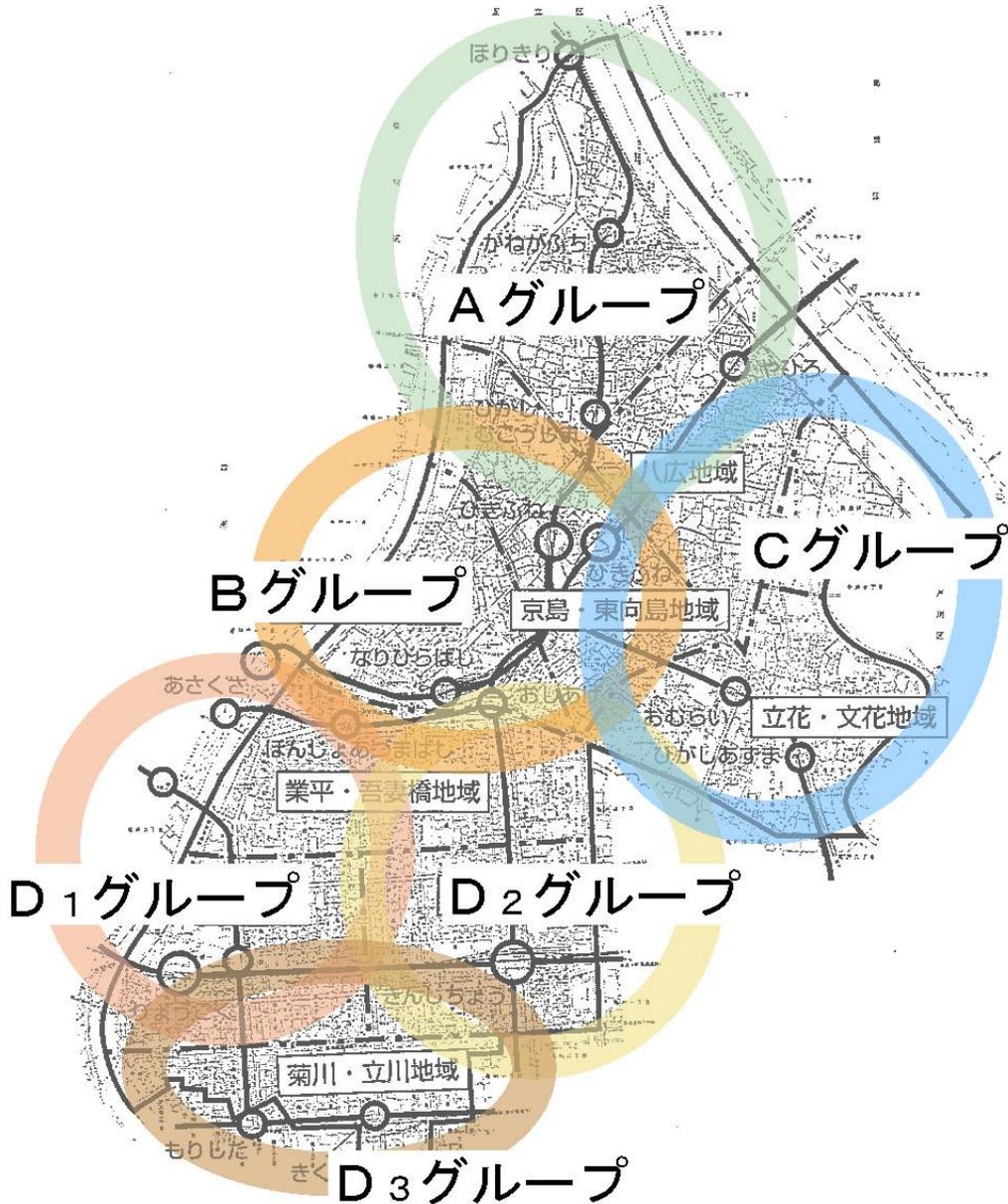


※各枠内の項目立てについては、現在検討中または現行計画の内容です

■6つの地域別グループ

平成19年度のワークショップは、平成18年度の検討内容をさらに掘り下げるため、平成18年度の地域区分からさらに区南部を3つの地域に分割し、合計6グループに改めて各地域の将来イメージをテーマ別にまとめる作業を行うことになりました。

<平成19年度の地域区分>



<それぞれのグループの担当地域の目安>

- | | |
|--------------------|----------------------------------|
| ⇒Aグループ：堤通・墨田・八広地域 | ⇒D ₁ グループ：両国・本所・吾妻橋地域 |
| ⇒Bグループ：京島・向島・押上地域 | ⇒D ₂ グループ：錦糸・業平地域 |
| ⇒Cグループ：東墨田・立花・文花地域 | ⇒D ₃ グループ：菊川・立川・緑地域 |

■Aグループで話し合われた内容は・・・（意見の一部をご紹介します）

◎Aグループ：荒川沿いの墨田・八広地区に堤通・東向島地区の一部を加えた、概ね明治通り以北の区の北端部に位置するエリア



Aグループでは、この地域に多く残る路地や古い建物の写真などが集まりました。今後は、路地をどうやって安全なみちとして活かしていくことができるのか、路地とは裏と表の関係にある幹線道路とあわせて、狭い道と広い道それぞれの活かし方を切り口に話を進めていくことになりました。



～地域の特徴～

- 路地／勝手口のある路地
- 花や緑がある
- 路地のまちづくりと幹線道路沿いのまちづくり

～今後に向けたキーワード～

- 路地の使い方：建物のルール／安全・防災／路地（裏）と道路（表）の関係／緑のルール・花のルール／風通しが良い・平均気温が低い
- 幹線道路の使い方：マンション問題／大きな緑・並木道

■Bグループで話し合われた内容は・・・（意見の一部をご紹介します）

◎Bグループ：東向島・向島・京島といった密集市街地のまちづくりと曳舟・押上・業平橋といった大規模開発が並んだ区の中央部に位置するエリア



Bグループでは、新タワーができる上、隠れた名所が多いので、こういう場所を訪れた人にいかに楽しく歩いてもらえるかを考えて“みち＝路地”を取り上げることになりました。“みち”は環境や防災、コミュニティなど色々なテーマに繋がるのでこれを入口に全体的に捉えていこうと話しました。



～今後に向けたキーワード～

- みちを中心にまちを考える(歩きたくなるみち)
 - 観光を目的に歩けるみち
 - 景観に配慮したみち（電線地中化、石畳など）
 - 水と緑に親しむみち（例：曳舟川通りなど）

～今後の進め方～

- 新しく作るのではなく今あるものを活用する
- 広い道路は地域のイベントができるように
- 分野ごとではなく「観光」や「景観」などを関連づけて検討する
- 観光スポット（点）を道路（線）で結ぶ路線を優先的に整備したい

■Cグループで話し合われた内容は・・・（意見の一部をご紹介します）

◎Cグループ：小村井、東あずまの2駅を中心に広がる立花・文花地区に旧中川で結ばれた東墨田地区を加えた、区の東端部に位置するエリア



Cグループでは、大きな公園や立派な施設等の良いものと狭く暗い道路などの悪いものが両極端にあるもったいない地域だということを確認し、このような2つの性格を結びつけるアイデアや良い面を伸ばすアイデアについて話し合いました。



～地域の特徴～

- 二面性を持った“もったいない”地域
- A面：大きな公園／温泉などの立派な施設／きれいな川（旧中川）
- B面：道路が狭い／暗いイメージ／塀が危ない（＝防災・防犯上不安）／工場地帯

～今後に向けたキーワード～

- 清掃工場の煙突：工場地帯を象徴する景観として、良いイメージを導くことができるのでは
- 大きな土地：住民が管理・活用することでコミュニティを育て、防犯・防災力を高める
- ・リバーサイドパーク／泥だらけになって遊べる場所

■D1グループで話し合われた内容は・・・（意見の一部をご紹介します）

◎D1グループ：両国駅周辺から、両国・本所・吾妻橋にわたる、概ね北を北十間川、東を大横川親水公園までを範囲とするエリア



新しいメンバーの多いD1グループでは、まず平成18年度の検討内容をおさらいしました。その後両国駅周辺から本所・吾妻橋にわたる地域の特徴について、北斎通りのまちづくりと外国人旅行者が増えている現状などを確認し、3つの検討テーマ案を導きました。



～地域の特徴と検討テーマ案～

- 道・川：東西に比べて南北の回遊性が良くない／両国駅から周辺への回遊性が乏しい／自然に恵まれた大横川も一部流れが淀んでいる所がある
- ⇒南北の道と大横川親水公園の新しい人の流れ
- 歴史・店の賑わい：国技館・江戸博のような特徴ある施設がある／北斎館が建設予定／北斎通りのまちづくりが進行中／外国人旅行者の増加
- ⇒賑わいを創出するものや祭を中心としたまちおこし
- その他（住みやすいまち）：防災面も比較的優れている／仕事場と住居が一体のことが多い
- ⇒北斎通りから広げていくまちづくり

■D2グループで話し合われた内容は・・・（意見の一部をご紹介します）

◎D2グループ：錦糸町駅周辺から、錦糸・業平にわたる、概ね北を北十間川、西を大横川親水公園までを範囲とするエリア



新しいメンバーの多いD2グループでは、まず平成18年度の検討内容をおさらいし、D1からD3までの3つのエリアにまたがる広域の視点から大横川親水公園や錦糸町駅周辺の位置づけ、碁盤の目状のまちの魅力と欠点などについて話し合いを行いました。



～地域の特徴と今後に向けたキーワード～

- ギャラリー化された店先などが街角のアクセントになっている ⇒産業・景観の両面で有効
- 相撲部屋が多い ⇒地域資源として活用
- 区の中心を通りタワーに繋がる大横川親水公園が重要 ⇒テーマ性を持った整備や景観の工夫
- 本所消防署、消防学習館、錦糸公園など防災機能が集積 ⇒区民の防災意識を高める情報発信
- 特徴あるお店や専門学校が集まる場所など特徴的な界隈がある ⇒界隈性を活かすまちづくり
- 碁盤目の街並みは防災面で有利だが印象が薄く分かりにくい ⇒個性ある街角・街並みづくり

■D3グループで話し合われた内容は・・・（意見の一部をご紹介します）

◎D3グループ：菊川・立川・緑を中心とする、概ねJR線路または豎川／首都高速道路以南の区の南端部に位置するエリア



新しいメンバーの多いD3グループでは、平成18年度の検討内容をおさらいと、検討範囲の確認をしました。「近年大きく姿を変えた地域」「観光資源となるものもいくらか残っている」という意見がありましたが、持ち寄った写真は両国駅周辺のものが多く、今後も積極的に特色を探そうと話し合いました。



～地域の特徴～

- この2、30年で激変した地域
- 防災面や定住面では発展している
- 昔ながらの墨田らしさが急激に失われている
- 観光資源となるものもいくらか残っている
- 相撲部屋やちゃんこ鍋屋など相撲関連施設が多い
- 新しいお店やレトロなお店、小さな神社なども

～検討テーマ案～

- 両国駅からいかにこの地域に来てもらうか
- 趣がある商店や歴史を忍ばせる施設などとマンション等がいかに共存していけるか
- 他にも取り上げるべき地域の特色はないか